

# 関東ふれあいの道を歩く(埼玉)⑪義経伝説と滝のあるみち

2020年9月25日 池内淑皓

2020年8月24日(月)暦の上では処暑であるが、とにかく暑い。新型コロナの影響で外出自粛となっているが、国はGOTOトラベルを展開。便乗して、関東ふれあいの道を歩くために、秩父の吾野まで出かけた。



西武秩父線吾野駅から黒山バス停までの案内図 (首都圏自然歩道連絡協議会)



吾野駅から黒山バス停までの行程図



西武鉄道秩父線は飯能から秩父まで、秩父街道(往還)の狭隘な谷間を縫うように走る



今日の最寄り鉄道下車駅は吾野駅



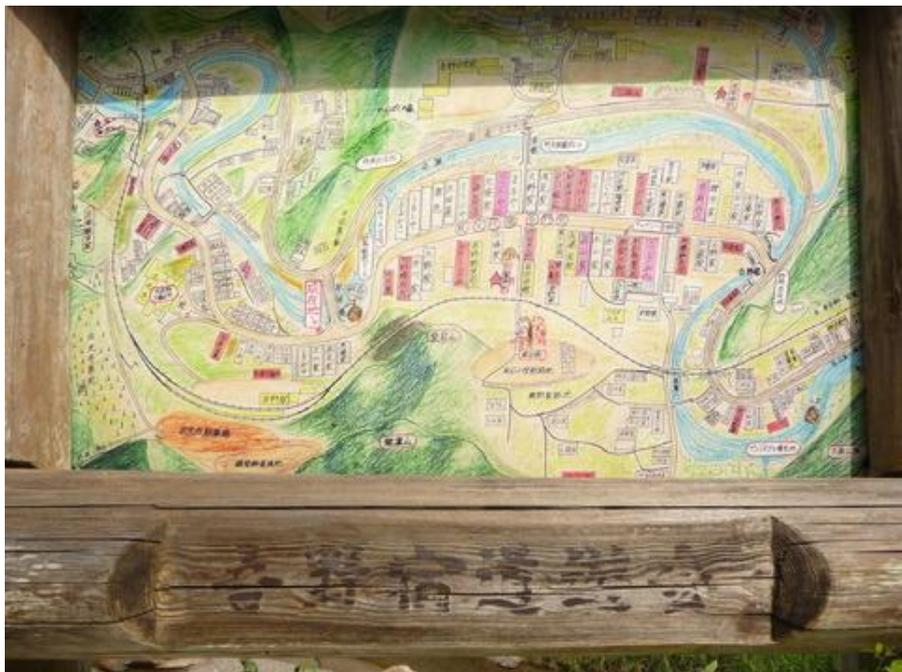
駅構内には、関東ふれあいの道案内板があるので、歩く地図を頭に入れてからゆこう



駅前の道案内に従って国道に出る、顔振峠方面に行く



旧道に出ると吾野は、秩父往還の宿駅として栄えた道が残されている、往古の名残が匂う宿場だ



宿入口には、江戸時代の街道絵図も掲げられている



過疎は進んでいるのだろうけれど、往古の佇まいが所々にみられる



既に過去となった街道の宿場風景とも言うべきだが



古民家を移築したというゲストハウスが誕生、昼間はお食事処ともなる。町おこしのため懸命な努力もしているのだ



「法光寺」曹洞宗 ここは平家の公達、平忠度を討った岡部忠澄(六弥太)の菩提寺となっている



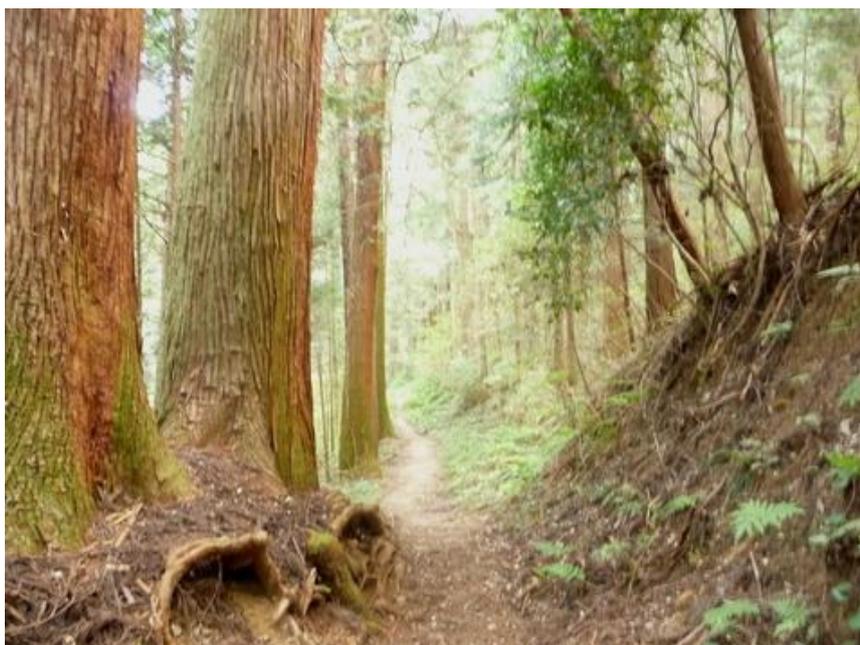
町を外れて国道を渡り、高麗川を越えると、顔振峠への道案内に従って山に向かう



山上にある風影集落への舗装道路と別れて、ふれあいの道は登山道に入る



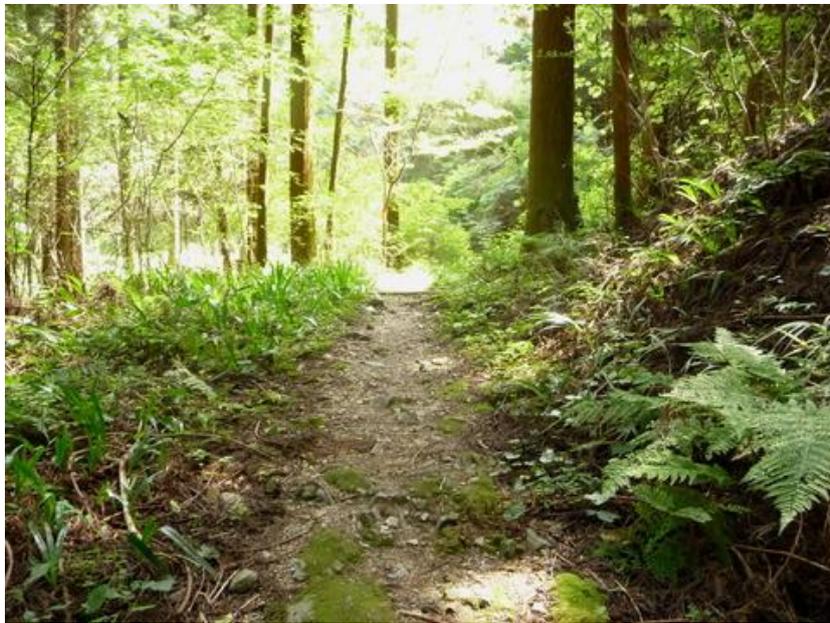
ここには関東ふれあいのみちの石標も建つ



昔から歩かれている道だと云う、しっかり踏み固められた快適な古道を、歩かせていただく



峠に向けて少し急な尾根を登るが



すぐに勾配が緩やかになり、開けた台地に出ると峠はずぐだ



「顔振峠(かあぶりとうげ)」

峠の名の由来は鎌倉時代、源頼朝に追われた義経が、この峠に立ち寄り、遥か都を振り返ったとの伝説による。



「峠の茶店」 秩父街道から越生に抜ける峠越えの古道に数軒佇む



「平九郎茶屋」 峠に建つ茶店の一つ。戊辰戦争時渋沢平九郎の世話をした茶屋として有名



「渋沢平九郎」1868年明治の戊辰戦争で、上野彰義隊の別動隊として動いた振武軍の副長。

上野寛永寺の戦い、飯能の戦いで敗れ吾野に逃れた。顔振峠まで来て、茶屋でワラジと衣服を整え、大刀を茶屋に預け、黒山に下って官軍に捕まり自刃した、ここを死地と定めたのであろうか。



顔振の風影集落、典型的な山上集落の一つ。見たところのどかな山村風景であるが、過疎化が急速に進んでいるという



平九郎はどのような思いでこの峠道を下ったのだろうか、旗本の端くれとして、無念であったに違いない



ここも良く踏まれた歩きやすい峠道だ



笹郷の集落まで下れば舗装道路となり、今度はアスファルトの照り返しがきつい



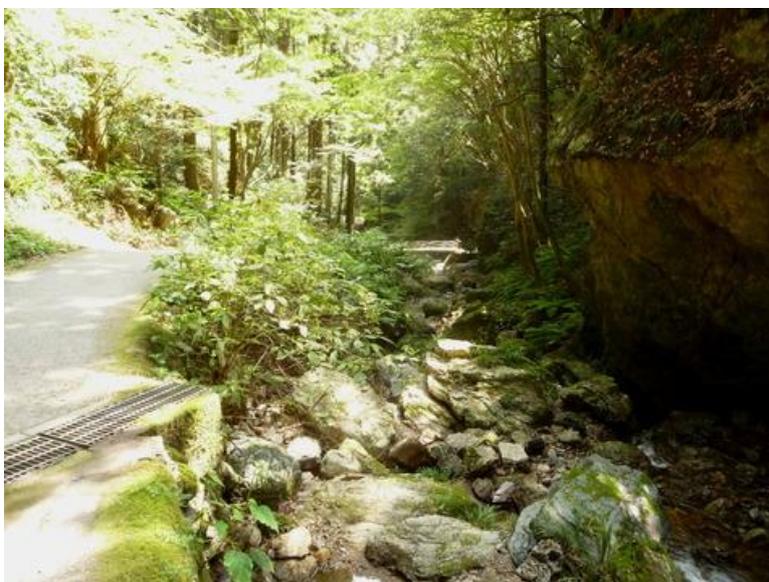
「渋沢平九郎自刃の地」顔振峠の茶屋で、親父から秩父に逃れよ！と提言したが、首を横に振り黒山に下ったという。

ここで官軍の斥候に発見され自刃した。明治元年、渋沢栄一が西洋視察の時、縁者の平九郎を養子にしている  
(8月24日茶店のお婆の聴き語り)



明治45年4月14日、自決の地を訪れた渋沢栄一行 渋沢史料館 所蔵

そして明治45年4月実業家となった渋沢栄一は、平九郎自決の地を訪れ、手厚く香華を手向けている



さて、黒山バス停に荷物を置いて、黒山三滝を見学してこよう、ここから 20 分程の所だ。

男滝、女滝、天狗滝からの水を集めて清流と成す、遊歩道は清流に沿ってある



「黒山三滝」バス停から 15 分程で行ける  
典型的なカンブリア紀の秩父古生層(1 億 5 千年前)で、地殻の変動により断層となった



女滝(4.5m)手前と男滝(11m)右上



女滝(4.5m)



天狗滝(13.6m)男滝・女滝と少し離れてある



ここには首都圏自然歩道の東屋もある、休憩するには最高の東屋となっている、涼しい



「黒山バス停」ここから越生駅へは、バスの便が悪いので注意。

平日・休日とも同じダイヤで：12:27、13:35(サンピア止まり)ここから越生駅まで1時間(4km)歩く、15:41、16:48(終バス)



炎天下小一時間歩いて越生駅到着、接続ぎりぎり。坂戸駅に出ると、東武池袋線で横浜行き直行便があった。

[参考タイム] 吾野駅(9:00)→顔振峠(10:40-10:50)→黒山バス停 12:05)→黒山三滝見物(12:20-13:00)

→バス停(13:20-13:45)→越生駅(14:30)

この項完

「関東ふれあいのみちを歩く(埼玉)⑧秩父盆地を眺めるみち」に続く